

消防団

1月6日(日)、
新春の晴天の下、
今年も八百津町消防
出初式が開催されま
した。



出初式は、江戸時代
からある日本の伝統文化。
今でも新春行事のひとつとして行わ
れています。

今年の出初式は、消防団員265人
が参加し、優良消防団員表彰や市中
行進、一斉放水などが行われました。
出初式は、地域のみなさんが消防
活動を知ること、火災予防意識を
より高めていただくことを目的とし
ています。

今回はシリーズ防災特別編とし
て、地域を守る身近な存在である、
消防団についてお話しします。

昨年は7月の豪雨災害や、台風21
号、北海道胆振東部地震など、全国各
地で地震や風水害が多発しました。こ
うした状況のなかで、もしもの時に頼
りになる、地域に密着した防災組織の
必要性はさらに高まっています。



平成31年消防出初式の様子

《消防団とは》

消防団は、各市町村に設置され
た機関で、消防署と連携を図りな
がら消火活動や防火啓発活動など
行っています。

地域の方がボランティアで参加
し、災害時などに地域のために活
動しています。そして、地域に密
着し、町民のみなさんの安心・安
全を守るという重要な役割を担っ
ています。

昨年9月に発生した台風21号で
は、町内においても、多くの世帯
で断線による停電や断水が起こ
り、大きな被害を受けました。福
地地区では、第5分団が巡回し、
安否確認や水の配布を行いました
た。多くの方が、心強く感じたこ
とでしょう。

しかし、全国の消防団員数は
年々減少傾向にあります。そし
て、八百津町においても毎年新入
団員の確保に苦慮しているのが現
実です。



《活動内容》

団員は、本業としての仕事をも
ちながら活動しています。

火災発生時の消火活動、災害時
の警戒、行方不明者の捜索など、
消防団長の招集命令に応じて出動
します。

また、春と秋の火災予防週間期
間中や年末に行われる夜警も、火
災予防を啓発するための大切な活
動です。

普段は緊急時に備えた訓練や点
検を行うほか、実際の災害を想定
した夏季訓練や、花火大会の警備、
防災訓練での指導、産業文化祭で
の消防団PR活動など、その活動
は多岐にわたります。

